

「【現地レポート】WOO APAC Forum 2025 | アジア OOH 市場の現在地と未来」 ホワイトペーパーを公開



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 以下、LIVE BOARD）は「【現地レポート】WOO APAC Forum 2025 | アジア OOH 市場の現在地と未来」のホワイトペーパーを公開しました。

世界 125 カ国・250 以上の団体が加盟する国際的な OOH 団体 World Out of Home Organization（WOO）。そのアジア太平洋地域フォーラムである「WOO APAC Forum 2025」が 2025 年 11 月 5 日～7 日に韓国・ソウルで開催されました。

本ホワイトペーパーでは、LIVE BOARD が株式会社電通と登壇した共同セッションの内容や、フォーラムで共有されたグローバルの潮流や APAC 各国の最新動向、そして日本が提示した OOH の可能性についてレポートします。

LIVE BOARD では、今後も DOOH 市場の発展のため、調査内容や関連情報を提供していきます。

■ホワイトペーパー構成

1. OOH は最後まで「主役」であり続けるメディア
2. OOH は「5%の壁」を超えられるのか。LIVE BOARD が示した希望
3. 各国の先進事例：オーストラリアと韓国の戦略
4. APAC におけるプログラマティック OOH の現在地
5. まとめ

■このような方におすすめ

- OOH のグローバルな潮流や、APAC 各国の動向について知りたい方
- 広告出稿において、テレビやデジタル以外のメディアを模索・検討されている方
- 今後の広告出稿について検討されている方

■レポートはこちら

<https://liveboard.co.jp/case/202601002831.html>

■株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現するデジタル OOH アドネットワークオペレーター



OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル 7 階
設立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤・鏡

TEL：090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp